

就 職 の 部

平成25年度就職指導主な予定

- 4月27日(土) 進路説明会
- 6月1日(土) 公務員・就職模擬試験(希望者のみ)
- 6月10日(月)～ 公務員・就職試験講習(希望者のみ)
- 6月中旬 就職希望者集会(学校推薦希望者)
- 6月下旬 ジョブサマースクール
- 7月1日(月) 求人開始
- 7月5日(金) 求人一覧表掲示開始
- 7月中旬より 第1回面接指導(各コースにて実施)
- 7月17日(水)～19日(金) 就職懇談会(保護者・生徒)
- 8月9日(金) 受験希望企業名の提出(HR担任へ午前中)
- 8月22日(木) 校内選考
- 9月4日(水) 以降 応募、推薦開始(書類発送)
- 9月上旬 第2回面接指導(進路部にて実施)
- 9月16日(月) 就職試験開始
- 11月1日(金) 複数応募推薦開始(一人2社まで)

1. 平成25年度の見通し

平成24年度奈良県内外の求人件数は、年度末現在昨年度同期に比べ増加した。平成24年12月末現在の就職内定率は82.8%(全国)で、景気の低迷が続くなか、高校生の就職環境は大変厳しい情勢であった。

平成24年度も厳しい就職活動になると思われる。こうした厳しい就職戦線を自覚し、自己の目的実現に向けて就職活動に取り組む必要がある。

2. 過去の求人社数

	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4
奈良	3 7	2 8	2 8	2 2	3 0
大阪	2 6	2 0	2 1	2 1	3 1
京都	1 0	7	6	5	9
その他	5 7	2 9	3 3	2 0	4 2
合計	1 3 0	7 9	8 8	6 8	1 1 2

3. 平成24年度就職結果

	民間企業	自営・縁故	公務員	小 計
標準 コース	7	2	1	1 0
文理 コース	2	1	1	4
英数 コース	0	2	0	2
合 計	9	5	2	1 6

4. 就職先

奈良県 (株)DNPデータテクノ関西、(株)ムラキ、社会福祉法人 中川会
ハートランドしぎさん、Royal of hair、御所市役所
大阪府 JR東海(株)、(株)エコー、(株)ジェイテクト国分工場
他府県 トヨタ自動車(株)、陸上自衛隊

5. 職業についての考え方

5. 1 なぜ働くのか

彼らに、なぜ就職するのかと聞くと、いや、学校を卒業するからと答えるんですよ。高校を卒業したから、仕方なく就職するのだと目的意識というか自立心が全くない。こんな連中をなぜ採用しなければならないのかと、私は疑問に思ったが・・・

ー大手メーカーの人事担当ー

情けない話だが、このような事例は多く見受けられる。目先の就職テクニックだけにとらわれず、なぜ働くのか？ という根本を、よく考えてください。

1) 社会的役割を果たす

人種・性別にかかわらず、あらゆる人々は、世の中に何らかの形で、それぞれの仕事を通じて役割を果たしている。農家は食糧を生産し、商人や運輸労働者は商品の流通・販売を通じて社会の維持・発展に寄与している。もちろん、他の業種においても同様である。自分は、どのような形で世の中に貢献したいのかという観点を抜きにして、職業を考えることはできない。

2) 自己の存在の確認と成長

肩書きという言葉がある。〇〇部××課係長だの△△課◎◎係だのと、その肩書きが個人の名前以上に、社会の中での位置づけを明らかにする例は、君達もよく知っていることだろう。肩書きはほとんどの場合、その人間の職名であり、職業が会社のなかで自分の存在を確認するよりどころとなっているのである。また、仕事を通じ、能力の向上や人格の育成をはかることは、自身の人間的成長にもつながる。

3) 生活の糧を得る

労働には、それに対する正当な対価が支払われる。その収入で我々は生計を維持しているから、決して軽視できない要件である。しかし、この点だけを重視すると、職業選択を誤りかねないので、上記1)、2)も決して忘れてはならない要件である。

5. 2 企業にとっての「人材」とは

君達がいかに「この会社に入りたい」と願っても、会社側の求める「人材」と異なるようでは、単なる片思いにすぎない。しかし、職業人として求められる人間像は、どの会社も大差はない。自分自身を振り返り、補わねばならないものがなにかを、考えてみる必要がある。

1) 業務遂行能力

- ア. 少々の無理もきく、強い体力
- イ. 年齢相応の知識と理解力
- ウ. 困難にもめげない強い精神力
- エ. 常に改善を目指し、改善点を探す問題意識

2) 組織人としての自覚

- ア. 内外・上下に対する礼儀
- イ. 上下・同僚との円滑な意志疎通
- ウ. 服務規律の遵守など、職場の秩序の維持
- エ. 環境（職種・勤務地等）の変化に対する順応性

5.3 職種とは

職業と一口にいても、実に様々な職種がある。自分に適した職種に就くことは重要であるが、あまり固定的に考えることも、自分の選択範囲を狭くする。以下に主な職種を例記してある。各自の〔仕事選び〕の参考にしてもらいたい。

1) 技術系

現業職 : 建設作業、工場作業、自動車運転等
研究・開発職 : 基礎研究、製品開発、システム開発等
専門技術職 : 医師、教師、プログラマー等

2) 事務系

一般事務職 : 総務、庶務、人事等
専門事務職 : 経理、法務等

3) 販売系

営業職 : 国内営業、外国貿易
販売職 : 店舗販売、訪問販売

4) その他

税理士、公認会計士等

上記のことはあくまでも便宜的なものであり、各職種は必ずしも独立したものではない。職場によっては、仕事の内容がいくつかにまたがることもある。ちなみに、男子の場合、一つの職種で定年まで変わらずにいることはほとんどあり得ない。

6. 高校生の就職をとりまく現状

6.1 高校生の就職内定状況

求人数は景気の変動を最も受けやすい。平成3年現在の景気状況を背景として高水準を維持していたが、平成4年からバブル経済の崩壊により、各企業とも採用を減らし求人倍率は降下の一途をたどっていた。

平成24年度は12月現在の就職内定率は82.8% (全国)で、全国の就職希望者数は約17万5千人のうち就職内定者は約13万3千人、就職に至っていない者が約4万2千人となっている。奈良県内定率84.4%で全国を上回る状況にある。

6.2 求人倍率

求人倍率は、昭和52年度2倍を超えたのを最後に、昭和63年度までは、1.53倍程度の中で推移していた。しかし、平成元年度には再び2倍を超え、平成3年度にはついに3.09倍となった。平成4年度からは著しく落ち込み、平成10年度は12月現在でやっと1倍を超えたという厳しさである。平成24年度は0.75倍 (12月末現在) で厳しい現状になっている。

6.3 産業別の求人状況

最近では製造業が最も多く、次いで卸・小売・飲食、サービスの順になっている。また、金融業は依然として減少傾向にある。ここで主な業種のいくつかを例にあげ、業種ごとの高校生の採用の現状を見てみよう。

1) 建設業

バブルの影響を受けて、求人状況はあまり良くない。また、女子の事務関係は短大、大卒等に採用を切りかえている企業も多く、男子については技能系の職種が多い。

2) 製造業一般

業種により景気の差があるため、採用の状況はさまざまである。また職種も技能系が中心となり、女子事務関係は一般的に高卒の枠を短大や専修学校に切りかえる傾向にある。

3) 小売業

従前のデパート等においては、販売員として高校卒女子を多く採用する傾向がみられたが、近年は短大卒や専修学校卒にその主力を置く傾向がみられる。しかし、スーパーマーケット業界では、依然として販売員の主は高卒者を対象にしているが、採用数は減少ぎみである。

4) 金融業

多くの銀行において、窓口業務は高校卒の女子を採用している。しかし最近では、採用を徐々に減らしているのが現状である。高卒採用については、昔に比べかなり厳しい採用試験になっており、高校時代の成績や人物評価のレベルに関しても極めて高い。やはり他の業界と同様に採用の主力を短大卒、大卒、専修学校卒に切りかえている。保険や証券業界になると、高卒での求人は全体的に少ない。

5) サービス業

接客関係のサービスとしては、高卒の求人がかなり目立っている。ホテル・レジャー産業・レストラン関係の求人が中心となっている。また、コンピューターのソフトウェア開発等のサービス業での求人は減少傾向にある。この様に、どの業界においても事務関係の仕事は厳しくなっており、特に大企業においては、短大卒、大卒、専修学校卒に切りかえているのが目立つ。絶対に私は事務職で就職を希望したいと考えるなら、日頃の高校生活を充実したいものとするのが大切である。

6. 4 高校生採用のメリット

高校生をとりまく求人数、求人倍率については、前項までに述べてきたが企業にとってのメリットも多い。ちなみに高卒・大卒にこだわらず昇進させている企業が81.7%にも及ぶというデータが出ている。ここでは企業側が高卒者に期待するもの、どのように働かせているかをまとめてみました。

1) 企業が高卒者に期待するもの

a. 組織の活性化

高卒者の採用理由として、企業の6割が活性化をあげている。このことは、若いエネルギー、バイタリティーを導入することにより、日々の業務が生き生きとし、また活力ある組織になると考えられているようだ。つまり継続的に高卒者の採用をすることが、企業の質を維持し、活性化させることにつながってくると考えている。

b. 新規事業、技術革新に対応する

若い感性によって新規事業を発展させたり新鮮な適応力で技術革新に対応することが、企業の発展にとってカギとなる。この意味での期待は高卒社員には大きい。

c. 若い感性による商品開発

企業では若い社員、特に女子社員だけによるプロジェクトチームが目立っている。

2) 企業がどのように若者たちに働かせているか

a. 感性と発想

先にも述べたが、若い感性は新製品の開発におおいに役立つことは、めずらしいことではない。特に消費者像が10～20代の商品であれば、同年代の人間が作るのが最も

理想的といえよう。最近では企業の考え方も非常に柔軟になり、若い社員に開発をまかせるケースが増えている。特に玩具、文具、食品業界では大きな成果をあげている。

b. 仕事に没頭しやすい

一見、悪いことを言っているようだがそうでもない。というのは、嫌いなことはやりたがらないが、好きなことをやらせると予想以上に熱心になり、期待以上の効果をあげるケースが多いという。これは個性にもよるが企業の人の使い方によっては驚くほどの効果があげられる証明でもある。良い意味での個性はどんどん伸ばしていこう。

c. 自分に与えられた仕事はしっかりと行う

与えられたことをしっかりと行う習慣が学校教育の場でかなり形成されているので、仕事においても生かされている。現在の職場では、それだけでは足りず一歩進んだものが要求されている。言うまでもなく、あたえられた仕事をしっかりと処理したならば、本人の能力を伸ばすという観点から、上司・先輩がアドバイスや指導をする。換言すれば現在の学校教育におけるクラブ活動の延長的な考え方である。このように、ある程度自分に与えられたことができるようになれば、そのことに自信を与え、新しいことを考えさせる。これを繰り返し行うのである。そうすることにより不安感や違和感がなく仕事に取り組むことができるようになる。

7. 就職活動の予備知識

7. 1 企業が望む高校生とは

就職の活動をするうえで、最初に考えておかなければならないことは企業がどのような高校生を採用したいと考えているかである。このことを踏まえ、就職活動を行わなう必要があるので説明します。

1) 健康であること

あたり前のことと思われるが企業にとって、健康な人間であることは最も重要である。その証拠にほとんどの企業で健康診断を実施している。病気がちの人を採用すると業務が進まなくなってしまうおそれがあるから慎重にならざるを得ない。

それでは、企業は健康面をどこで判断しているのであろうか。最も重視するのは、高校時代の欠席、遅刻、早退の数であろう。欠席数は3年間で10日以内であることが望ましい。また著しく遅刻の多い生徒は特に敬遠されやすい。ただし、やむを得ず欠席する場合（たとえば、体育の時間に骨折した等）は問題ないだろう。また、どこか悪いところのある生徒は、就職活動を始める前に必ず治療しておくようにしよう。

2) マナーを身につけていること

a. きちんと挨拶ができること

社会人となると、挨拶そのものが一つの仕事である。したがって卒業までにしっかりと挨拶のできる習慣を身につける必要がある。特に最近の若者たちは、友人同志の挨拶を軽くすます傾向にあるので注意したい。

b. 言葉遣いがきちんと出来ること

これも社会人にとってはとても重要なことである。特に注意したいのが敬語である。

c. 礼儀作法等を身につけること

たとえば、面接のイスのすわり方、入室の方法などをとってみても決められた作法があるので基本的なことを身につけておく必要がある。

3) 常識があること

a. 基礎学力

最近では勉強がいやだから就職を希望する生徒が多く、その意味では基礎学力が不足しているケースが多い。試験では、一般教養に関する出題が多く日々の基礎的な勉強はたいへん重要である。特に、漢字や文章表現などは社会に出てから必ず必要になるので注意すること。

b. 社会常識

社会人となるにあたって、世の中の動きに目をむける必要がある。試験においても時事問題の出題があるし、面接で最近興味を引いたニュースを聞かれることもしばしばある。その意味では毎日、新聞を読む習慣をつけ、ニュース解説なども見る必要がある。ある会社の面接で、今の内閣総理大臣は誰かと言う質問に対し、答えられない生徒が多かったという。特に専門教科に関する知識はもちろん、ある程度、社会人となるための基礎知識を身につけておく必要がある。

4) 性格的な部分

a. 積極的であること

現代の企業は毎日が競争であると言っても過言ではない。その中において自ら進んで仕事をしようとする態度は重視せざるを得ない。現代の企業の最も重視するのはその部分である。その意味では日頃からクラブ活動、ホーム・ルーム活動などを通じ、積極性を育む必要がある。

b. 協調性があること

企業は人の集団であり、一つの目的をもって活動しているのでその中で自分の役割を認識し、実践する態度が必要である。協調性についても日頃の生活でしっかり身につけておこう。

c. 個性があること

最近の高校生は、画一的な思考をするとよく言われる。自分だけでは他人に負けないというものをもっていたり、小さい頃から何かを続けてやっていたりすると評価は高い。

以上3点は特に注意したい要素である。その他にも、向上心のあること、真面目で素直であること、明朗快活であること、責任感が強いことなどがあげられる。

7. 2 就職活動の前段階として

1) 情報を集める

最近では、様々な職業を解説した出版物も豊富に出版されているし、それを読むことである程度の知識は得られる。また、身近な人々の話を積極的に聞くようにすることから、始めるのも良いだろう。

2) 将来設計を持つ

今の段階で将来設計をするのはかなりむずかしいが、進路を決める一つの方法として将来設計を立てて、作文を書いたりするのもいいだろう。

3) 自分の適性を考え、自ら分析する

たとえば、自分の性格の長所・短所を5～10項目あげ、その現状と長所をどの様に伸

ばし、短所をどの様に直しているかを考える。また、自分を客観的に見てもらう機会をつくることも必要である。これを繰り返して行くと、自分が何に向いているかが少しずつ理解できるだろう。

4) 進路ノートを作成する

具体的な入社試験のスケジュールや企業研究などを記入し、日頃からそばに置き、活用すると便利である。また面接でよく聞かれることもまとめておこう。

ー進路ノート記入例ー

- ① スケジュール
- ② 自己紹介
- ③ 企業研究
- ④ 質問事項
- ⑤ 最近のニュース

5) 親と先生とのコミュニケーションを深める

情報を得ることだけでなく、人生の先輩として、学べるべき点を積極的に吸収する。

6) 具体的な業界研究や企業研究をする

自分の進みたい業界や、企業をピックアップして整理しておくことが必要である。求人票やパンフレットをまとめるだけでなく、自分で集めた情報（先生や先輩などから聞いたこと等）を詳しく整理しよう。

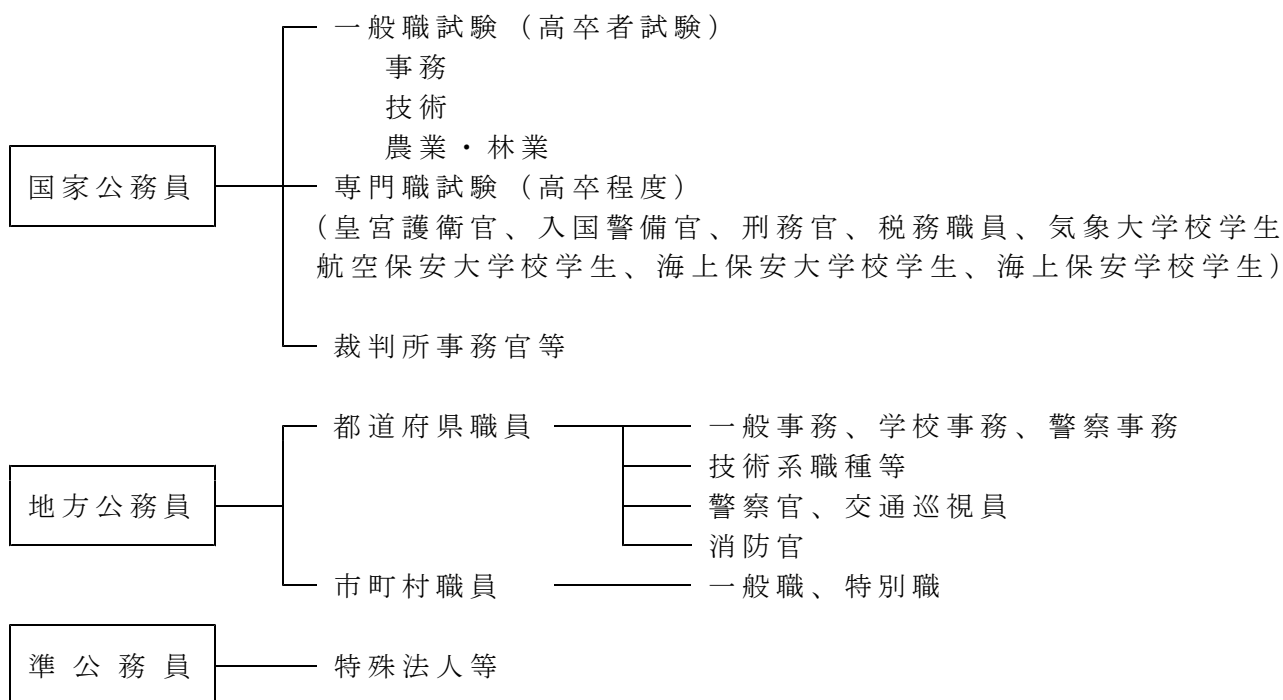
国家公務員採用試験日程 (平成25年度)

	受付期間	第一次試験日	一次合格発表日	第二次試験日	最終合格発表
一般職試験	6/24~6/28	9/8	10/10	10/17 ~ 10/25	11/19
刑務官	7/23~7/31	9/22	10/16	10/24~26	11/26
皇宮護衛官	7/23~7/31	9/29	10/16	10/28~11/1	11/26
入国警備官	7/23~7/31	9/29	10/16	10/29~31	11/26
航空保安大学校学生	7/23~7/31	9/29	11/5	11/18~21	1/16
海上保安大学校学生	8/29~9/6	11/2 11/3	12/13	12/20	1/23
海上保安学校学生 (特別)船舶運航	4/1~4/8	5/19	6/7	6/13~6/21	7/17
海上保安学校学生	7/23~7/31	9/29	10/16	10/22 ~10/31	※
気象大学校学生	8/29~9/6	11/2 11/3	12/13	12/20	1/23

※海上保安学校学生の2次試験合格発表日等は試験名・試験区分により異なる。
また、航空課程は3次試験あり。

試験日 12/7 12/15
合格発表 1/23

高校で受験できる公務員の種類



国家公務員一般職試験職務内容

試験区分		職務内容
事務系	行政事務	各官署において、一般の事務または技術的な業務。
	税務	税務署などで税金の賦課、徴収などの事務。
技術系	電気・情報	主として各官庁の研究所・試験所や管区警察局、国立大学等において電気・通信設備についての技術的業務。
	機械	主として各官庁の研究所・試験所や地方運輸局、国立大学等において、機械設備の保守などの技術的業務。
	土木	主として地方建設局、土木研究所、港湾建設局等において、道路、港湾、河川、ダム等の土木工事の測量・調査、工事現場の監督等の技術的業務。
	建築	主として地方建設局、国立大学等において、建設工事の設計・調査、施設の管理、工事現場の監督などの技術的業務。
	化学	主として各官庁の研究所・試験所や国立大学、通商産業局、税関などにおいて、化学分析、化学合成、その他化学の実験・試験・研究などの技術的業務。
	農業	主として全国の統計情報事務所、食糧事務所などにおいて、農業人口、農作物などの統計調査、食糧の検査・管理などの技術的業務。
	農業・土木	主として全国の地方農政局またはその事業所等において、農業土木工事の測量・設計、調査、工事現場の監督・指導の補助などの技術的業務。
林業	主として全国の営林局、営林署などにおいて、森林の保護・管理、造林など、営林の実施及び指導の補助などの技術的業務。	

※試験についての詳細は各自で関係機関に問い合わせること。